



市と懇談中のみなさん

二二百万円の所得の人々が、一昨年は住民税が八千円だったものが、今年は、八万円と十倍にも大増税になつた。国民健康保険料、介護保険料を合わせると

年金二ヶ月分を支払うことになる。とても生活が厳しい」「現在、介護保険料を支払えない人は、後期高齢者医療費も支払うことができない。これは大きな問題になる。来年度、年金から差し引かれる後期高齢者医療制度について、決定の前に内容を公開し、私たちの声を聞いてほしい」「介護保険制度の改定で、全国的に4%利用が減った。私はヘルパーをしているが、利用者は決して介護の無駄遣いをしているのではない。三十分の時間内で食事やトイレ介助な

会保障推進協議会の大坂府下自治体キャラバンの一環として寝屋川市と懇談を行いました。

増税・介護・医療負担軽減を 社保協が市にもとめる

七月十一日、大阪社

田中
ひさ子



田中
ひさ子

強烈な台風4号で大きな被害が出ました。その後、新潟・中越地方を大きな地震がおきました。被害を受けられた方々に哀悼とお見舞いを申しあげます。高知の実家に連絡しますと、大きな下水管が破裂しました。徐々に緑等の面積が減り、保水力が減少している田舎では大きな下水管が必要となっていました。毎年のように災害がおこっています。寝屋川市でも、安全対策、地震対策がもとめられています。

ど難しく、ヘルパーがサービスでしているなど、次から次へと厳しい実態の発言がありました。

日本共産党から、田中議員が参加しました。

保育所民営化で 保護者の声



公立保育所民営化について市は、七月十二日、十三日にかけて、ひまわり保育所の保護者に説明会を行いました。

保護者から「民営化をしないでほしい」、「親の声も聽かず、一方的に来年四月からはあまりにもひどい」など、多くの抗議の声が出されました。

このような中、保育所民営化についてひまわり保育所の保護者から日本共産党議員に手紙が寄せられました。内容を紹介します。

寝屋川市において、がなされておらず、こ市立保育所民営化方針に基づき、七月三日、公立保育所民営化実施保育所として、ひまわり保育所が決定されました。

しかしながら、民営化方針の内容について保護者、職員・関係者一同に納得の行く説明

がなされておらず、こ市立保育所であるひまわり保育所に預けたいという思いから、近くに引越しまでして、通っている方もおります。「公立

保育所を選んで入所したのに途中で民営化されてしまうことに深刻な危機感を感じておりました。父母の中には公立保育所であるひまわり保育所に預けたいという思いから、近くに引越しまでして、通っている方もおります。公立

保育所を選んで入所したのに途中で民営化されたのに途中で民営化は契約違反」という声とは、短期的な視点での民営化施策の強行でなく、現在の保育所職員、保護者、寝屋川市が一体となって、保育所の今後のあり方に成り立つこと、および、これにかかる公的支援です。

そのためには必要なこと

とは、短期的な視点での民営化施策の強行ではなく、現在の保育所職員、保護者、寝屋川市が一体となって、保育所の今後のあり方について議論することと

思います。